

3 緑豊かなまちづくりを推進しています

JR3駅周辺の街路樹整備とラベンダー通り復活プロジェクト

1 JR3駅周辺の街路樹整備

JRの3駅は、市内外の多くの方が利用していますが、経年により、街路樹の枯損やブロック舗装の不整等が進んでいます。このため、本市の玄関口としてふさわしい道路景観の形成や歩行者空間の安全性の向上に取り組んでいます。

(1)整備方針

- ①低木撤去・ブロック舗装（道幅員の拡充、歩行者の安全性・快適性の向上）
- ②既設の植樹枠を樹木保護蓋に変更（土の露出を抑え雑草対策）
- ③ヤマボウシの植樹（品種改良の常緑樹を植樹、落葉を減らし維持管理性の向上）

(2)整備箇所

- ①磐田駅南（市道中泉大泉町線 400m）
- ②豊田町駅南（市道上本郷14号線 200m、下本郷7号線 170m）
- ③御厨駅北（市道新貝107号線 200m）

(3)事業費

約4千5百万円

(4)スケジュール

- 1月中旬 磐田駅・豊田町駅周辺の低木等の撤去完了
- 1月下旬 樹木保護蓋の設置、ヤマボウシ植樹開始
- 3月中旬 植樹完了

2 ラベンダー通り復活プロジェクト

福田西部地域では、磐田市福田靈園から東へ約1kmにわたる大原東西1号線には、約2,500株のラベンダーが植えられ、5月から6月にかけて紫色の花が咲き誇っていましたが、現在は数本となっています。地域から再生の相談を受け、市民団体「ラベンダー通り復活プロジェクト」との共創により、復活に向けて取り組んでいます。

(1)共創の仕組み

- ①ラベンダー通り復活プロジェクトの役割
 - ・維持管理
 - ・植樹や花壇整備
- ②市の役割
 - ・土壤改良
 - ・ラベンダー育成の助言
 - ・保険加入、物品や用具の貸与（まち美化パートナー制度）
 - ・ラベンダー苗の購入費などの補助（地域緑化支援事業助成金）

(2)スケジュール

- 11月下旬 除草、土壤改良の完了
- 3月上旬 植樹開始